

(6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資

13項目 3,105,100

<都市計画局・建設局>

①「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進 1,730,300

◆「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進 57,000

京都の魅力と活力が凝縮した歴史的都心地区（四条通、河原町通、御池通、烏丸通で囲まれた地区）を中心とした「まちなか」において、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向け、「歩いて楽しいまちなか戦略」を推進している。

26年度は、25年度に引き続き四条通の歩道拡幅整備を行う（建設局、投資枠）とともに、公共交通優先化に向けてタクシー及び荷捌き車両等の整序化システムを導入する。

全体事業費 2,506百万円

四条通歩道拡幅整備（建設局） 2,443百万円（投資枠）

整序化システム等（都市計画局） 63百万円

（局配分枠6百万円、政策的新規・充実事業予算枠57百万円）

◆「歩いて楽しいまちなかゾーン」の推進 41,700

歩道整備が困難な都心の細街路において、安全でゆとりのある歩行空間を確保するため、幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン」と設定し、交通管理者等と連携して、ゾーン対策を実施している。

26年度は、25年度に対策が完成する歴史的都心地区に隣接し、事業効果の波及が見込まれる次の箇所で対策を実施する。

対策箇所 四条通～河原町通～高辻通～烏丸通に囲まれたゾーン

六角通（烏丸六角～堀川六角）及び蛸薬師通（烏丸蛸薬師～堀川蛸薬師）

対策内容 ゾーンを明示する看板の設置等（都市計画局） 1,200

路側帯の拡幅による車線幅員の狭小化、自転車通行区分の明示（建設局） 40,500

◆バス利用促進等総合対策事業 47,000

公共交通の利用促進を図るため、バスロケーションシステムやICカードシス

(6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

テムを導入するバス事業者の車載機器等整備費に対して国、京都府、関係市町とともに助成を行う。

本事業による助成を活用し、市バスはICカードシステムを導入する。

◆「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業 30,500

「東大路通整備構想」に基づき、東大路通の道路空間再配分において課題となる周辺道路への交通の影響等について検討するため、交通調査及び予備設計等を引き続き実施する。また、関係機関との協議を行うとともに地元や市民の皆様への説明を行う。

◆駅等のバリアフリー化の推進 140,000

「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」に掲げる重点整備地区（10地区・11旅客施設）等のバリアフリー化を推進する。

駅施設のバリアフリー化

（継続）JR太秦駅（新規）JR藤森駅、阪急西院駅及び京福西院駅

駅施設のバリアフリー化及び自由通路の新設

（新規）京阪深草駅

ホームにおける転落防止対策

（新規）JR二条駅、JR京都駅

◆京都駅南口駅前広場の整備 1,404,100

本市最大のターミナル駅である京都駅の南口において、交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行空間の創出等により、「歩くまち・京都」の玄関口にふさわしい駅前広場の整備を推進する。

年次計画 26～27年度 整備

◆京都のまちの活力を高める公共交通の検討 5,000

本市が目指す政策目標や社会・経済情勢の変動等を踏まえ、公共交通の更なる利便性の向上やまちの活性化など、「歩くまち・京都」の実現を図るため、「10年後の京都の公共交通のあるべき姿」を検討する。

◆観光地等における自動車流入抑制策の検討 5,000

25年度に実施した自動車流入抑制策の検討成果も踏まえ、観光地等における自動車流入抑制策の検討と対策に取り組む。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

四条通の歩道拡幅整備 [建設局 道路環境整備課 TEL 222-3570]

歩いて楽しいまちなかゾーン (建設局分) [建設局 建設企画課 TEL 222-3551]

京都駅南口駅前広場の整備 [建設局 道路建設課 TEL 222-3577]

(6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

<都市計画局>

②京都未来交通イノベーション研究機構（仮称）の設立及び運営 10,000

京都未来交通イノベーション研究機構（仮称）を設立し、よりスマートな都市、幸福を享受できる社会を実現するため、様々な交通に関する情報の収集・統合等、ICT等の活用により、交通分野の研究開発から実用化検討を行い、人と物の移動に関する利便性や安全性の向上を目指す。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

③リニア中央新幹線の誘致促進 5,000

リニア中央新幹線「京都駅ルート」の実現、東京・大阪間全線の一体的かつ早期開業及び関西国際空港へのリニア延伸によるアクセス改善に向け、「京都府中央リニアエクスプレス推進協議会」に分担金を支出し、客観的な数値を示しながら、国等に対する要望活動や市民意識の高揚を目指した広報啓発活動等を行う。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

④JR奈良線高速化・複線化第二期事業 51,000

JR西日本、京都府、関係市町が連携して、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業を推進するため、26年度は、環境影響評価・鉄道設計等を実施する。

- 事業費 350百万円
- 京都市補助 関係市町補助分 131百万円のうち、38.46%

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(都市計画局)】

[充実事業]

◇「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化

全体事業費 8,239 (うち充実分 5,000)

(6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

<建設局>

⑤岡崎地域活性化ビジョンの推進～左京区岡崎における神宮道と公園の再整備～ 185,800

歩いて楽しい岡崎地域のシンボルとなる憩いと新たな賑わいのある歩行空間を創出するため、神宮道を隣接する岡崎公園に取り込み、一体的に再整備する。

年次計画 26～27年度 整備

[建設局 建設企画課 TEL 222-3551]

[建設局 緑政課 TEL 222-3589]

⑥市庁舎前広場における機械式地下自転車駐車場の整備 138,800

市庁舎の建替えに伴い、寺町臨時自転車駐車場を廃止するため、周辺の放置自転車対策として、市庁舎前広場西側の地下に24時間利用が可能な機械式の自転車駐車場を2基整備する。

年次計画 26～27年度 整備

[建設局 自転車政策課 TEL 222-3565]

⑦無電柱化事業 14,300

豊かな自然と優れた文化遺産、伝統的な町並みなどの歴史的風土を保全し、市街地景観の向上を図るとともに安全で快適な歩行空間の確保及び都市機能の向上を図るため、無電柱化を実施する。

26年度は、宇多野嵐山山田線（長辻通）及び三条通において、予備設計に着手する。

全体事業費 367百万円（うち政策的新規・充実事業予算枠 14百万円）

[建設局 道路環境整備課 TEL 222-3570]

⑧名勝円山公園保存管理計画策定 3,200

京都市の貴重な文化遺産である名勝円山公園の歴史的環境を適切に保存・管理するための方針や方法等、将来的に必要な再整備を行うための指針となる計画の策定に着手する。

年次計画 26～27年度 保存管理計画の策定

28～30年度 整備

[建設局 緑政課 TEL 222-3589]

(6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

<総合企画局>

⑨「はばたけ未来へ！ 京プラン」の点検 4,000

「はばたけ未来へ！ 京プラン」の着実な推進に向け、計画の達成状況の総括及び政策の見直しの必要性について点検する。

[総合企画局 政策企画室 TEL 222-3035]

⑩大型汎用コンピュータのオープン化の推進 860,100

住民基本台帳、税、福祉等の基幹業務の処理を行う大型汎用コンピュータについては、特定業者の固有の技術で作られた機器とシステムを改修しながら、30年近く運用してきたが、市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、最新技術を導入し、機器及びシステムを刷新（オープン化）する。

26年度は、新システムのプログラム開発に向け、現行業務に関する情報や新システムに盛り込むべき機能の明確化などを行うとともに、新システムの設計作業を行う。

[総合企画局 情報化推進室 TEL 222-3257]

<市会事務局>

⑪市会トピックニュースの発信機能強化 3,000

京都市会のトピックとなる事項（26年度は「議会基本条例」を予定）について、新たに地元新聞へ掲載するとともに、説明用リーフレットを作成・配布し、議会活動に対する市民の皆様の関心と理解を深める。

[市会事務局 総務課 TEL 222-3700]

[市会事務局 調査課 TEL 222-3697]

(6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

<交通局>

⑫快適なバス待ち環境創出事業 18,600

公共交通優先の「歩くまち京都」の実現に向けて、快適なバス待ち環境を創出するため、KYOTO_WiFiのインターネット環境を活用した新たな手法により、バス接近表示器を整備する。平成28年度までの3箇年で200箇所を整備し、バス接近表示器の設置が可能な約500箇所全てへの整備を完了する。

[交通局 技術課 TEL 863-5154]

⑬地下鉄駅賑わい創出事業 81,000

鉄道施設の一部を商業スペースに有効活用し、「駅ナカビジネス」を展開する。26年度は、山科駅及び丸太町駅に店舗区画を創出する工事を実施するとともに、コトチカ御池の拡充及び今出川駅構内の店舗整備に向けた実施設計を行う。

繰出金総額 138百万円 (うち政策的新規・充実事業予算枠 81百万円)

[交通局 営業推進室 TEL 863-5068]